

令和4年度進路通信

峠の向こうは春

2022（令和4）年
4月

長岡京市立長岡第三中学校
NO.1

3年生進級おめでとう！

いよいよ3年生です。

今年は、義務教育をしめくくる年であると同時に、中学校卒業後の自分の進むべき道を決定する年です。現在、新型コロナウイルスの感染にともなっていくつかの活動の自粛が求められています。そんな中でも、みなさんは、やがてやって来る“通常の活動”に備えて、しっかり力を蓄えておきましょう。

さて、この一年は、これまでの経験から言っても、卒業生の言葉を借りても、「人として最も成長する時期」であり、「学力的にも最も伸びる時期」です。

学力が最も伸びる時期

卒業生の誰に聞いても、中学3年の一年間、一番勉強したと言います。なぜなら、次に向かうために、当然必要になるからです。

義務教育を終了して、就職しようと、「高等学校など」に進学しようと、それに相応しい学力を身につけなければなりません。否応なしに勉強せざるを得ない状況に追い込まれるのも事実ですが、仲間とともに一緒に勉強することが好きになったり、あるいは意気に感じることもあるでしょう。勉強すればするほど、学力が身につくのはもちろんですが、その中で、勉強は、人と比べるものではないんだということにも気づくはずですよ。勉強とは、「**仲間と一緒にやり、その結果自分もまわりのみんなも幸せになる**」ものです。

人として最も成長する時期

みなさんにとって、この1年は、これまでの人生の中で最も勉強をし、最も苦しむ1年間、また最も充実した1年間となるでしょう。中学校卒業後の進路を選択し、実現する道のりは、そんなに簡単なことではありません。みなさんに考えてほしいことが二つあります。

まず、第一に、学力を身につけることです。**学力とは“だまされない力”**だという人もいます。私たち日本の社会の歴史を考えてみてください。例えば、今から100年前、女性であったり、収入が少なかったりすると、勉強する機会さえ奪われるような国でした。“学校に行くと、勉強できていれば、こんなつらい生活を送らなくても良かったのに”と、以前、お年寄りの女性から聞いたことがあります。でも、今はどうでしょう。やる気さえあれば、自分の将来は開けていく条件は広がっています。

第二に、人とつながり、安定した人間関係を築くことです。そして、「**ヘルプを求める勇気**」「**ヘルプに応える心**」を持って欲しいと思います。みなさんが、将来出て行く社会には、今さまざまな問題があります。その多くの問題に共通していることは、人を大切にしない、人と人のつながりが断たれてしまっていることです。「うまくいかないのは、あなたが努力してこなかったからだ。自分の責任、自己責任だ。」というメッセージが容赦なくふりかかるかもし

れません。しかし、そもそも考えてみると、自分の責任でないこともたくさんあります。また、人間にとって大切なことは何でしょう。人とつながり、人と一緒に楽しく努力して、人として成長することです。みなさんが、行事や日常生活の中で、身をもって体験できるチャンスは、この中学校生活の中にたくさんあります。

人生は、「やりたいこと」「やれること」「やらなければならないこと」で構成されていると、私は考えます。「〇〇高校に進学したい」「クラブの大会で優勝したい」と心の中で考えてばかりいて、努力しなければ、「やりたいこと」は実現しません。「やれること」「やらなければならないこと」にしっかり取り組むことが重要です。学習においても、クラブ活動においても、そして人間関係づくりにおいても、すべてにおいてです。

進路実現は団体戦！

このスローガンは、10年以上にわたって、長岡第三中学校の進路実現の取組の中で、最も大切にしている考え方です。短くても、中身の詰まった良いスローガンだと思います。

この言葉から、みなさんは何をイメージしますか？「進路って自分のことなのに…なぜ、団体？」と思う人がいるかもしれません。もちろん、希望の進路を実現するためには、自分自身が頑張っ、「自分を見つめ」「自分で努力」することが大切なのは言うまでもありません。何があろうと、まわりがどうであろうと確固たる信念のもとに頑張れる自分をつくる決意は、当然必要です。まさに「自立」できる自分づくりです。

また、今日、「自立」とは、「自分一人で何でもできる」ことではなく、「自分が困っているときに助けを求め、困っている人に手を差し伸べる」ことです。さらにもう一つ付け加えるなら、まわりの仲間と一緒に楽しく一つのことをつくりあげることです。

あなたがしっかり学習に向き合えば、それがまわりの人を助けることになります。まわりの方が頑張れば、あなたはもっと頑張れるようになるでしょう。

さまざまな集団の中の多くの方が、真剣に進路に向き合い真剣に学習していれば、自分も真剣に進路や学習に向き合うことができるでしょう。

つまり、良い集団の中にいることができれば、一人一人が人としても、学力を身につけるといっても大きく成長できるわけです。そして、さらに具体的に言うと、教え合いのできる学年は、みんなが学力を伸ばせる学年、そこにいてホッとできる学年、一人一人に居場所がある学年と言われるのも当然なのです。そして、そんな集団を創っていくのは、実は、みなさん一人一人なのです。

「進路は団体戦」、このスローガンのもとに、216名全員が希望進路実現のために、力を出し合い、支え合っていきましょう。

校内復習テスト・学習確認プログラムについて

本校は、中学校三年間の学習内容の復習を行い、自分の学習成果（得点力）を把握するために年3回の「復習テスト」と年2回の「学習確認プログラム」を実施します。

「復習テスト」は長岡第三中学校の先生が問題を作成し実施するもので、「学習確認プログラム」は、京都市・乙訓通学圏で共通して実施するものです。

なお、「学習確認プログラム」は、共通問題で実施し、共通の採点基準を取る必要があるため、業者に問題作成と採点をお願いします。有償ですが、長岡京市より半額が支援されます。どちらも中学校三年間の学習内容を「理解している部分」と「不十分な部分」を明らかにして、効果的な復習を行う機会としてください。

「学習確認プログラム」も「復習テスト」も学校の通知表の評価材料とはしません。また、高等学校に送る「報告書」にも関係しません。

しかし、入試の合否判定は「報告書」だけでなく、「入学試験」「面接など」の結果によって行われます。テストなどの準備を通し、着実に得点力を向上させることが、希望進路の実現につながります。そのためには毎日の授業に対する予習や復習と並行して、1年生や2年生での学習内容を、もう一度確認し、不足している部分を補うことが必要です。

一学期は部活動の練習など忙しい毎日ではありますが、配布する範囲表をもとに学習計画を立て、少しずつでも復習を行いましょ。

また、復習テストと学習確認プログラムの結果は、今後の進路指導を行う上で、補助的な資料として活用していきます。

校内復習テストと学習確認プログラムの活用方法

これらのテストは中学校の学習内容を再確認し、不十分な部分を補うことで、学力向上（得点力の向上）を行うことが目的です。その効果を高めるにはそれぞれのテストで、

- ①テスト前に必ず試験範囲の復習を行い、忘れていた部分・理解が十分ではなかった部分を補うための学習をする。
 - ②試験結果をもとに自分の学力を分析する。
 - ③分析を基に不十分な所を再度学習する。
- という3つの活動をする必要があります。

今までの3年生を見ていると、この3つの活動をしっかり実施して学力を向上させられた人もいますが、①と③を十分に実行しないで、テストの結果を見て「できた」「できなかった」と一喜一憂するだけで終わっている人もいました。せっかくの学習機会ですから十分に生かせるように取り組みましょ。

復習テスト	6月・8月（2学期始業式）・11月に実施 本校教師が問題作成・採点を行います。
実施教科	国語・社会・数学・理科・英語の5科目
実施時間	各教科 20分間 英語は25分間
配点	40点満点（合計200点満点）
実施形態	Aテスト 国語・社会・理科（60分間） Bテスト 数学・英語（5分間のリスニングを実施）（45分間）

学習確認プログラム	5月・10月に実施 京都市・乙訓の中学校が同一問題で実施します。
実施教科	国語・社会・数学・理科・英語の5科目
実施時間	各教科 45分間
配点	100点満点（合計500点満点）
実施形態	5教科を2日に分けて実施

学習確認プログラム ステップ1

5月10日（火）国語・社会・数学
11日（水）理科・英語

学力分析が正確にできるよう、京都市・乙訓通学圏で決められた一定の実施期間内に行います。今回は、学習確認プログラムの後、26日（木）27日（金）に中間テストが実施されますが、今から計画的に学習をすすめていきましょう。また不正解だった部分を見直す時間を十分に取らましょ。また、学習確認プログラムの予習課題を配布するので必ず活用してください。

進路通信について

この「進路通信」は、この1年間、大きく言って、二つの目的で発行していきます。

第一に、必要な時期に必要な情報を正確に知らせます。みなさんのまわりでは、進路に関するいろいろな情報が入ってくると思いますが、中には、うわさのようなものもあるかも知れません。学校として発行するものは、正確な情報のみです。もれなくきちんと情報をつかんでください。

第二に、適切な時期に適切な内容を掲載します。「今は〇〇を頑張る時期」とか「1ヶ月後に〇〇があるから、今からその準備をしておいた方がよい」などです。一年間は、長いようで短いです。同時に、一年間の節目節目に進路に関する大切なことがあります。よく読んで自分

保護者の皆様へ

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止にともない、保護者の皆様におかれましても、労働や生活に対して大きな影響を及ぼされていると思います。いつの世の中でもそうですが、何か重大な出来事があったときに、最も犠牲になるのは、子どもとお年寄りです。とりわけ、中学3年生のお子様をお持ちの保護者の皆様には、さまざまなご心配のことがおありとは思いますが、私ども教職員は保護者の皆様と一層連携を密にして、頑張っていきたいと考えております。

この一年間、「進路通信」を通じて、進路に関するさまざまな情報をお伝えしていきます。お忙しいとは思いますが、保護者の皆様も目を通していただき、お読みいただければ幸いです。また、お子様の進路実現に際して、何かご質問等がございましたら、遠慮なく、お尋ね頂きますようお願い致します。

今回の新型コロナウイルスの感染、まだまだ予断を許しません。保護者の皆様におかれましても、御身体くれぐれも御自愛ください。一年間どうぞよろしくお願い致します。